

投資事業評価調書(新規)

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 河南 嘉彦 (樋口 孝)	内線	4 3 6 2 (4 3 7 4)
------	-------------------	---------------------	--------------------	----	----------------------

事業種目	道 路	事業名	事業区間	総事業費	約14億円 (内 用地補償費 7億円)
		道路改築事業 一般国道372号 社バイパス	加東郡社町木梨～ 同町田中		

所在地	着工予定年度	完成予定年度
加東郡社町木梨～田中	H16年度	H20年度

事業目的	事業内容等
<ul style="list-style-type: none"> ● 国道372号は、社町の市街地において直角曲がりの交差点が短区間に3箇所あり、この線形不良の解消を図り、円滑な通行を確保する。 ● 市街地の外側に環状道路を形成することにより、通過交通と中心部から発生する交通を分離し、現道の渋滞解消を図る。 ● 国道372号は、社町域を含む篠山市から姫路市までの区間が、兵庫県地域防災計画において緊急輸送路に位置づけられており、緊急車両の円滑な走行を確保する。 	<p>道路改築事業 L=2,800m</p> <ul style="list-style-type: none"> 山国工区 L= 530m 田中工区 L= 750m 整備済み区間 L=1,520m <p>計画幅員：W=6.5(16.0)m(2車線+両側歩道) 現況幅員：W=5.5(8.25)m(2車線+片側歩道) 計画交通量：10,000台/日 現況交通量：13,797台/日 混雑度：1.46</p>

評価視点	評価内容
(1)必要性 安全・安心の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・バイパスを整備することにより、現道の交通量が減少するため、地域住民が安心して道路を利用することができる。 ・両側歩道の整備により、通学児童等、歩行者の安全が確保される。 ・緊急輸送路に位置づけられており、緊急車両の円滑な走行が確保できる。
交通渋滞の解消	<ul style="list-style-type: none"> ・県道3路線が町中心部から放射状に伸びているため、通過交通の流入により市街地内で慢性的な渋滞が発生しているが、このバイパスを整備することにより、通過交通と域内交通が分離され、渋滞が解消できる。
快適な生活環境をめざす	<ul style="list-style-type: none"> ・バイパスを整備することにより、中心市街地の交通量が減少して騒音、振動等が解消され、沿道住民の生活環境が改善される。
地域ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・社町総合計画及び都市計画マスタープランにおいて、このバイパス整備を課題として取り上げ、早期整備を強く求めている。また、町のまちづくり懇談会においても、当該区間の整備を求める住民からの意見が多く寄せられている。
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・北播磨における東西の幹線道路として、地域の発展を支える道路となる。 ・費用便益比 B / C = 2 . 3
代替性	<ul style="list-style-type: none"> ・本バイパスルートは野村河高バイパスに連続する「社外環状線」の一部として都市計画決定されており、事業区間の過半が既に整備済み(町道)であるため最適である。
効率性 (事業執行環境)	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートについては、既に「社外環状線」として都市計画決定している。 ・安全確保の観点から地元住民の要望が強く、円滑な事業執行に向けた協力体制にある。 ・バイパス区間の過半が整備済みであることから、早期効果の発現が見込め、既存ストックの有効活用の面で効率的である。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞解消に伴い、大気汚染等の改善が図られる。 ・植樹帯を設け、切土法面を緑化することにより環境への影響を最小限に留める。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・現道の渋滞対策及び北播磨地域の均衡ある発展に寄与する道路であるため、早期に着手する必要がある。

